

みどりの会が結成 40 年を迎える

5月30日（金）、町の若手農業後継者グループ「鶴田町みどりの会（長峰良孝会長）」が結成 40 年を迎えたことを記念して、式典と祝賀会が開かれ、関係者 93 人が出席しました。

式典で長峰会長は「みどりの会は長きに渡り、町の農業に根付いてきた。今後も強い農業を実現していきたい」とあいさつ。中野町長や来賓の方々から祝辞が述べられたあと、第 30 代から 40 代まで会長を務めた会員 10 人に長峰会長から感謝状が贈呈されました。

このほか、町国際交流会館ホールでは、全国農業青年クラブ連絡協議会（全国 4H クラブ）の大越正章^{まさふみ}会長が講師を務め、『農業青年による地域と農業の活性化』をテーマに記念講演が行われました。



△会長を務めた会員10人に感謝状が贈呈されました。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までどしどしお知らせください。

新婚夫婦が結婚記念に植樹

6月7日（土）、平成 26 年度の結婚記念植樹祭が行われ、新婚夫婦の皆さんが鶴寿公園内に記念樹を植樹しました。

昭和 50 年から続く植樹祭は今回で 40 回目を迎え、昨年 4 月から今年 3 月までに入籍した 7 組の新婚夫婦が出席しました。中野町長から、「思いやりを大事にしてください」との言葉と、『難を転ずる』といわれるナンテンの木が贈られると、出席した夫婦の皆さんは、不死不滅とされるメタセコイヤの木の根元にそれぞれ仲良く土をかけていました。

昨年 11 月に入籍した佐々木忍さんと美穂さんは「お互いに元気で楽しく共に過ごしていきたい」と今後の結婚生活について思いを述べてくれました。



△夫婦仲良く土をかけ、メタセコイヤの木を植樹しました。

おにぎりを食べて挑戦!!

6月13日（金）、鶴田中学校（樋口貴俊校長）で北五地区の中学校体育夏季大会に出場する選手の壮行式が行われ、各部の選手たちがそれぞれ大会への意気込みを述べました。

選手代表で、男子陸上部主将の成田竣哉さんと女子バスケットボール部主将の松山寿々さんは「仲間を信じて最後まであきらめない」と全力で“挑戦”することを誓っていました。

また、選手たちを激励しようと、同校PTAと町食生活改善推進協議会、生活改善グループ連絡協議会の会員がにぎった手作りのおにぎり530個がふるまわれ、選手たちは真心がこもった手作りのおにぎりの味に笑顔を見せながら食べていました。



△真心がこもったおにぎりを感謝の気持ちを込めて食べました。



△楽しい夜に乾杯!!どのお店もとてもにぎやかでした。

今夜は楽しくはしご酒

6月20日（金）、町料理飲食業組合（花田正逸理事長）主催「つるたじょっぱりチャリティー酒まつり」が行われ、町内外から約450人が参加し、町の飲食店が並ぶ文化通りをにぎわせていました。

酒まつりは2時間以内に指定された5軒のお店を決められた順番に回り、すべてのスタンプを集めると、豪華賞品が当たる抽選会に参加できるというルール。27回目となる今回の酒まつりには18軒の飲食店が参加協力し、約250点の賞品が用意されました。スタートの合図とともに、参加者たちはそれぞれ指定された店に一齐に向かい乾杯。スタンプを集めて、テレビや自転車などの賞品をそれぞれ獲得していました。

道の駅あるじゃで周年祭

6月28日（土）、29日（日）の2日間、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、開設13周年を記念して、当町が友好交流協定を結ぶ鹿児島県さつま町の特産品フェアと、県内外の11の道の駅の商品を販売する全国「道の駅」フェアが開かれました。

イベントでは、さつま町特産のカボチャやさつま揚げ、静岡県や新潟県など全国各地の特産品のほか、当町のスチューベンとさつま町の芋焼酎を使った新商品のリキュール『葡萄のお酒 Filer（フィレール）』が販売され、多くの買い物客で賑わいました。

この日家族で訪れた下山阿連くんは「コロッケやブドウのアイスを買ったので早く食べたい」とイベントを楽しんでいました。



△13周年の節目を祝い、1300個の風船が空に舞い上がりました。